

東京都防災（語学）ボランティア 活動報告



防災（語学）ボランティアの皆さんの活動の様子をお伝えします。

令和5年度 東京都防災（語学）ボランティア研修①

今年度の研修は3回行いました。第1回は初の試みであったオンデマンド研修、第2回は対面とオンラインをそれぞれ行った通訳・翻訳技術研修、第3回は公開講座とバラエティーに富んだ研修となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

第1回 災害現場での異文化理解基礎研修

チラシ

東京都防災（語学）ボランティア研修 ●ラーニング ●東京都
第1回 災害現場での異文化理解基礎研修 受講料 無料

今年度の第1回の研修は、基礎研修として、より多くの方に受講していただくため、オンデマンド配信（ラーニング研修）で実施いたします。講師はいつもわかりやすい講義で好評の田村先生です。お申込みいただいた配信期間内であれば、ご都合の良い日曜で何日でもご視聴いただけます。特に初めて語学ボランティアに登録された方は必ず受講してください！

講師紹介

「誰ひとり取り残さない災害対応をめざして」

田村 太郎 氏（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事



兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供を機に、1995年「多文化共生センター」を設立。また復興まちづくりのネットワーク組織「神戸復興塾」事務局長や、兵庫県「被災者復興支援会会長」兼務として被災者支援に尽力。2007年にダイバーシティ研究所を設立。代表理事として企業や自治体による人の多様な価値の推進に携わる。
東日本大震災直後に内閣府企画官に就任し、「震災ボランティア推進室」で官民連携による被災地支援を推進した。復興庁発足後は上野政府復興官、14年より復興推進部を統括。共済に「好きならまちで仕事をする」「多文化共生カード」開発、「自治体防災とエネルギーガバナンス」「阪神大震災と外国人」などがある。ダイバーシティ研究所は基本組織（2016年）中期日本支部（2018年）、熊本支部（2020年）などで自治体と連携した被災者等調査を実施。災害ケースマネジメントの考え方に基づく被災者支援を推進した「誰も取り残さない災害対応」をめざしている。

一般財団法人ダイバーシティ研究所

代表理事 田村 太郎



Diversity =
Energy for
Community and
Organization



田村先生

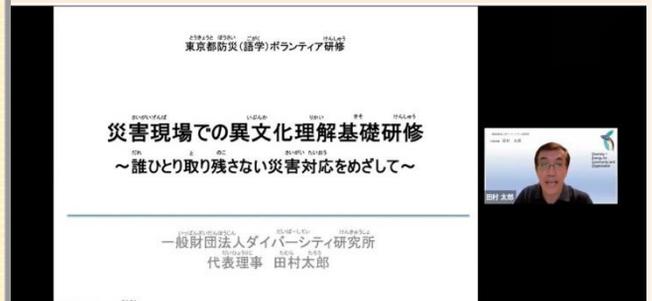
申込期間		配信期間	
A	令和5年 8月18日(金) ~ 令和5年 9月3日(日)	A	令和5年 9月8日(金) ~ 令和5年 9月24日(日)
B	令和5年 10月23日(月) ~ 令和5年 11月2日(水)	B	令和5年 11月8日(水) ~ 令和5年 11月26日(日)
C	令和5年 1月4日(水) ~ 令和5年 1月14日(日)	C	令和5年 1月18日(水) ~ 令和5年 1月31日(水)
D	令和5年 2月12日(月) ~ 令和5年 2月25日(日)	D	令和5年 3月1日(金) ~ 令和5年 3月17日(日)

●今回申込みできるのはA日曜です

●今回申し込めるのはA日曜のみです。B日曜以降の申し込みは、事務局からメールにてお知らせいたします。
●東京府防災（語学）ボランティアに登録されている方のみが対象です。
●本研修はアンケートの提出をもって受講完了といたします。
●配信期間中はいつでも視聴いただけます。

※eラーニング研修及び操作体験（オプション研修）に必要なインターネットの接続に接続することができるスマートフォンやタブレット端末はご自身でご用意ください。（通信費は受講者の負担となりますのでご注意ください）

申込方法
下記 URL より専用申込フォームにアクセスいただき、お申込みください。
研修専用サイト <https://bousai-gv.wolfstyle.co.jp>



第1回研修は、オンデマンド研修として4回に分けて配信しました。田村先生による多文化防災の基礎研修として、たくさんの方が受講されました。

参加者の感想 （一部抜粋）

フロー情報とストック情報のちがいなど、基本的な知識と心構えから知ることができた。異文化コミュニケーションの観点からいくつかの気づきを得ることができ、有意義であった。



東京都防災（語学）ボランティア 活動報告



防災（語学）ボランティア
の皆さんの活動の様子を
お伝えします。

令和5年度 東京都防災（語学）ボランティア研修②

今年度の研修は3回行いました。第1回は初の試みであったオンデマンド研修、第2回は対面とオンラインをそれぞれ行った通訳・翻訳技術研修、第3回は公開講座とバラエティーに富んだ研修となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

第2回 通訳/翻訳技術研修

チラシ

令和5年度東京都防災（語学）ボランティア研修

東京都

第2回 通訳・翻訳技術研修

受講料無料

～通訳・翻訳の現場をのぞいてみよう～

この研修では、最初の30分で発災時の参集を想定した通訳訓練を実施し、その後の2時間で3者間コミュニケーションにおける通訳ボランティアの心構えと役割、求められるスキルについて学びます。通訳研修では、ロールプレイを通して実際に通訳体験をしていただけます。経験の有無を問わず、誰にも通訳も同時に学べるよい機会ですので、楽しくスキルアップをしましょう！

研修内容

第1部 発災時の参集を想定した通訳訓練（30分）

発災時に東京都防災（語学）ボランティアがどのように発災現場から通訳を依頼されるのかの説明と実際に通訳にも挑戦します。辞書、通訳アプリ等をご持参ください。

第2部 通訳技術研修（120分）

昨年、好評をいただいた研修今年度も行います。3人のグループに分け、通訳役、行政職員役、外国人役を交代で行い、災害現場で想定される演習を行います。講師、通訳アシスタントが皆様のサポートに入りますので、通訳経験のない方もご参加ください。昨年と同じシナリオを使用します。

開催日時

会場参加 令和5年10月7日（土） 13:30～16:00 定員 40名程度

東京都消費生活総合センター 教室1・II（東京都新宿区神楽河岸1-1）

※会場の詳細、地図等は参加決定通知のメールにてご案内いたします。

オンライン参加 令和5年11月2日（木） 18:00～20:30 定員 20名程度

※参加のためのURL等は参加決定通知のメールにてご案内いたします。

※後日、ライブ配信した映像を研修専用サイトに掲載しますので、お名前や顔が映りこむ可能性があります。

- この研修は、東京都防災（語学）ボランティアに登録されている方が対象です。
- 会場、オンラインとも研修の申込は不要です。通訳研修では、同日昼ともロールプレイを行いますのでお知らせください。
- 本研修はアンケートの提出をもって完了完了いたします。

申込期間

令和5年9月12日（火）～9月24日（日）

申込方法

下記URLより専用申込フォームにアクセスいただき、お申込みください。

研修専用サイト <https://bousai-gv.wolfst>

- 会場参加の場合の会場までの交通費は自己負担となります。
- 参加希望者が定員を超過した場合、抽選となる場合があります。
- 研修日の約1週間前までに参加決定通知のメールをお送りします。
- 内容については一部変更となる場合があります。
- 当日メディアの取材・撮影が入る場合があります。
- 本研修の様子（写真）は研修のPR等のため、東京都公式ホームページやチラシなどにあらかじめご了承ください。

講師プロフィールは次ページをご覧ください。



アビー先生

参加者の感想
（一部抜粋）

現場でのお話を聞かせて頂いたり、直接アドバイスを頂けてとても貴重な体験になった。みなさん真剣で、緊張感があって良かった



話を真剣に聞く参加者の皆様



アビー先生とアシスタントの皆様

第2回研修は、対面形式を10/7、オンライン形式を11/2にそれぞれ行いました。アビー先生の軽妙な語り口に参加者の皆様の頷く様子が多く見受けられたようです。外国人役、行政職員役、通訳役に分かれて、それぞれの役割に沿ってロールプレイを行いました。



東京都防災（語学）ボランティア 活動報告



防災（語学）ボランティア
の皆さんの活動の様子を
お伝えします。

令和5年度 東京都防災（語学）ボランティア研修③

今年度の研修は3回行いました。第1回は初の試みであったオンデマンド研修、第2回は対面とオンラインをそれぞれ行った通訳・翻訳技術研修、第3回は公開講座とバラエティーに富んだ研修となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

第3回 事例研究「多文化社会における災害対応」

チラシ

令和5年度東京都防災（語学）ボランティア研修 公開講座（オンライン） 東京都

第3回 事例研究 「多文化社会における災害対応」 受講料 無料

東京都では、東京都防災（語学）ボランティアの方々に対して、防災知識や対応力を高めたいため、研修を実施しています。今回の研修は、都内在住・在勤・在学の方も対象とした公開講座として実施します。皆様のご参加をお待ちしております。

研修内容

第1部 基調講演 多文化共生時代の地域防災



講師/ファシリテーター
きくち あきよし 特定非営利活動法人
菊池哲佳氏 日本ボランティアコーディネーター協会 理事

2000年に仙台国際交流協会（現在の仙台領光国際協会）に入社し、防災事業、外国人相談事業など担当、多文化共生の地域づくりに取り組む。
2011年の東日本大震災では、仙台市が設置した仙台市災害多言語支援センターの運営に携わり、主にボランティアのコーディネートや避難所巡回を担当した。
現在は、多文化社会専門職機構事務局長を務める。

第2部 パネルディスカッション 外国人住民とすすめる地域防災



パネリスト
さとう けいこ 佐藤金枝氏
台湾台北市出身。1994年留学生として来日。結婚を機に南三河町（田原津川町）に移住して在住に至る。2005年から第三文化圏研究会理事として防災事業に参画する。震災後、日本赤十字社の海外中傷災パネル等国際防災の翻訳作業などを行っている。



パネリスト
フィリピン出身。宮城県仙台市在住。2011年の東日本大震災発生時には避難所での生活を体験。震災後は自身の経験を踏まえ、防災事業を事業的に社会外国人に伝えている。現在は、せんだい外国人防災リーダーとしても活動中。

開催日時

令和5年12月8日（金） 18:00～20:00 オンライン 配信 定員 500名

対象 東京都防災（語学）ボランティア登録者および都内在住在勤在学の方

申込期間

令和5年11月10日（金）～11月28日（火）

申込方法

下記 URL より専用申込フォームにアクセスいただき、お申込みください。

研修専用サイト <https://bousai-gv.wolfstyle.co.jp>

- 参加希望者が定員を超えた場合、抽選となる場合があります。
- 研修日の約1週間前までに参加決定通知のメールをお送りします。
- 内容については一部変更となる場合があります。
- 本研修の様子（写真）は事業のPR等のため、東京都公式ホームページやチラシなどに使用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- オンライン研修ではアーカイブ配信用の動画を撮影する予定です。研修中にお名前またはお顔が映り込む可能性があることをご承知おきの上で参加願います。

申込みに関するお問い合わせ

東京都防災（語学）ボランティア研修事務局
（株式会社カルフスタイル内）
TEL 03-6264-0377 [MAIL] bousai-gv@wolfstyle.co.jp

研修内容に関するお問い合わせ

東京都生活文化スポーツ局 都民生活部 地域活動推進課
東京都防災（語学）ボランティア担当
metro.tokyo.jp



菊池先生



佐藤さん

菊池先生



ジョイさん

第3回研修は、菊池先生を講師に、東日本大震災で被災され、その後支援者として活躍されている外国人お二人をお招きし、実際体験された貴重なお話をお聞きすることができました。被災当事者ならではの貴重なお話でした。

参加者の感想 （一部抜粋）

外国人の生活感を理解しておくことの必要性を感じた。活動されている方の体験談は為になる。

